

受診者用

## 川口市胃がん内視鏡検診についての説明書並びに同意書

## ● 胃がん検診の目的

胃がん検診は、症状がない時期にできるだけ早く胃がんを見つけ、早く治療する目的で行われています。その方法には、バリウムを用いる方法と内視鏡を用いる方法があります。

## ● 胃内視鏡検査の方法

口ないし鼻から内視鏡を挿入し、診断を行います。異常がある場合には、病変の一部をつまみ(生検)、細胞の検査を行うことがあります。

また、色素を散布して、病変を見やすくすることがあります。

なお、生検が行われた場合、生検については保険診療として別途請求があります。

当日は健康保険証を持参してください。

## ● 偶発症

胃内視鏡検査では、以下の偶発症が起きる可能性があります。

- 1) 胃内視鏡検査による粘膜損傷、出血、穿孔(穴があくこと)
- 2) 生検による出血、穿孔
- 3) 薬剤によるアレルギー(呼吸困難、血圧低下など)
- 4) 検査前からあった疾患の悪化(症状の出ていなかった疾患も含む)

偶発症が発生する頻度は、全国調査によると、10万件に78件の割合と報告されています。

この中には鼻出血などの軽微のものから入院例まで含まれております。

現在、胃がん内視鏡検診による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。

万一、偶発症が生じた場合、担当医師はその治療に全力であたらせていただきます。

## ● 結果について

検診の結果は、必ずご本人が受診して説明をお受けください。

医療機関名

管理者名

上記の事項について、十分に理解しましたので、その実施に同意します。

年 月 日

受診者署名

受診者代理署名

(続柄)

( 川口市 )